

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

▶ ホーチミン市でボランティアをおこなっています

現在、ベトナムではホーチミン市・ビンズオン省といった南部を中心に、新型コロナウイルス感染症の感染状況がおさまらないままです。この状況に対応するため、各地の医学生・看護学生などが感染拡大地域で支援活動を行っており、タイビン医科薬科大学 日本コースの学生も数名がホーチミン市での活動に参加しています。

毎日の仕事でとても苦勞して危険ですが、誰も文句を言いません。午前6時から11時まで、午後3時から10時か11時まで、時には午前2時頃まで活動することもあります。感染者数・死者数が減らないことが心配で、悲嘆に暮れることもあります。でも、どんな困難でも乗り越えようと思っています。今回は、大学で習わないスキルや、チームワークスキル、問題解決スキル、恐怖を克服するスキルなどを学び、実践できていると思います。(6期生 Dao Thi Minh さん)

私たちの毎日の仕事は、感染者・接触者のサンプリングや、市民からの電話対応、感染者への薬の配布、患者の搬送やなくなった方の処置の支援などです。初めてのことばかりで慣れていなく、仕事のプレッシャーや感染の恐れなどとても多くのストレスを感じました。ですが4~5日目からは落ち着いてスムーズに対応できています。もう2ヶ月が経ちました。もう少しで帰れると思いますが、日本語や専門の勉強も遅れないようになるべく自習時間を調整したいと思っています。(6期生 Pham Thi Hien さん)

長期に渡る活動は、とても過酷なものです。いまは無事に帰ってきてくれる日を心待ちにしています。



▶ 卒後実習をおこなっています (5期生)



今年の夏に大学を卒業した5期生は、大学の附属病院で卒後実習を始めています。まだ看護師免許を取得するための国家試験制度が確立されていないベトナムでは、9ヶ月間の卒後実習を経て看護師免許を申請・取得することになります。

『叱られたら本当に諦めたいと感じます。でも自分が一生懸命取り組んできたことを思い、自分にもっと頑張れと言います。私はこの最後のステップを完了するために最善を尽くします。』『患者が重体になったり亡くなったりするのを見るのは辛いです。でも私はそれらに慣

れ、もっと頑張って知識や技術を向上させないといけないことを知っています。』といった声が聞かれます。大変な卒後実習ですが、大学4年間でたくましく成長した皆ならきっと大丈夫と信じています。

【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

(担当：中馬・福田)

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0322

Web/http://vietnam-nurse.com/